

平成29年度 山口県学力定着状況確認問題の結果について【小学校】

下松市教育委員会

結果の公表にあたって

平成29年度「山口県学力定着状況確認問題」(平成29年10月25日実施)の結果についてお知らせします。

本問題は、小学校3～6年生と中学校1、2年生を対象とし、国語、算数・数学(小学校5年生は社会・理科、中学校2年生は社会・理科・英語も実施)の学力の状況や児童生徒の生活習慣、学習環境の状況を調査し、県内すべての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図ることを目的として実施しました。

今回の結果をもとにして、本市におきましても、学校と家庭・地域が連携・協働し、一体となった取組を推進して参ります。

教科に関する
問題の結果について
(下松市)

【国語】 全ての学年で県平均正答率を上回っている。

【算数】 全ての学年で県平均正答率とほぼ同程度である。記述式問題については、どの学年も正答率が低い傾向があり、課題が見られる。

【社会】 県平均正答率を上回っている。

【理科】 県平均正答率を上回っている。

→ どの教科も、県平均正答率を上回るか、同程度の結果です。一方で、**記述式問題(考えを書く、理由や方法を説明する等)**は正答率が低く、課題といえます。授業等で**各教科に応じた「書く力」の育成**を図る必要があります。

◎ (市平均正答率の高かった問題) ▲ (市平均正答率の低かった問題)

国語

- ◎ 漢字を正しく読むこと(4年・5年)
- ◎ 文の中における主語、述語をとらえること(3年・6年)
- ◎ グラフや表から必要な情報を読み取ること(6年)
- ▲ 目的や意図に応じて必要な内容を整理して書くこと(5年)
- ▲ 慣用句の意味を理解すること(5年)
- ▲ 登場人物の心情を捉え、叙述を基に自分の考えをまとめること(6年)



算数

- ◎ 長さについての感覚を身に付けていること(3年)
- ◎ 時間、時刻についての概念をもっていること(4年)
- ◎ 二次元表の見方を理解し、事柄に当てはまる数を求めること(4年・5年)
- ▲ 円の半径を用いて、二等辺三角形ができる理由を説明できること(4年)
- ▲ グラフの特徴を基に2つのグラフが対応していないことを読み取り、違いを記述できること(4年・5年)
- ▲ 対称の中心を求める方法を記述できること(6年)



社会

- ◎ 地図記号について理解していること
- ▲ 資料から必要な情報を読み取ること
- ▲ 2つの事象を関連付けて説明できること



理科

- ◎ メダカの子どもの特徴を理解していること
- ▲ 星座早見の正しい使い方と代表的な星座について理解していること
- ▲ 2つの事象を関連付けて結果を想定できること



課題の見られた
問題例

国語 慣用句の意味を理解する問題 【5年】

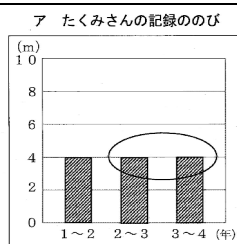
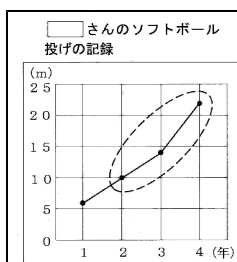
○ 次の慣用句の意味としてふさわしいものを、一つ選びましょう。

頭が下がる

- ア 一つの考えにこだわり、ゆうずうがきかない。
- イ 心から尊敬、感心する。
- ウ なやみ事、心配事などで考えがまとまらず、こまりはてる。
- エ 物事をすばやく正確に判断できる。

* 県平均正答率を下回り、30%程度の正答率でした。

算数 グラフの違いを読み取り説明する問題 【4年・5年】

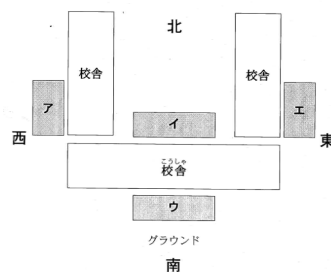


○ 左の折れ線グラフが「たくみさんのものではない」といえるのは、それぞれ○で囲んだ部分にどのようなちがひがあるからですか。それぞれのグラフを見て、そのちがひを、言葉や数を使って書きましょう。

* 4年生と5年生で、ほぼ同じ問題が出題されていましたが、4年生・5年生ともに県平均正答率を下回り、20%よりも低い正答率でした。

理科 2つの事柄を関連付けて想定する問題 【5年】

○ インゲンマメの成長には、日光が関係していることを学習しました。この学習を生かして、インゲンマメを植えたプランターをどこに置こうか考えています。どこに置くと最もよく育つでしょうか。右の校舎の図のアからエの中から一つ選んで記号で答えましょう。また、選んだ理由を答えましょう。



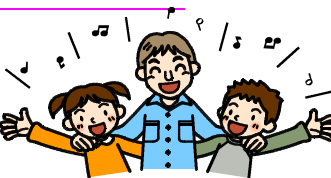
* 平均正答率が30%程度で、県平均正答率よりも低い状況が見られました。

★ 学 校

- **学校の組織的取組の強化**
(教科・学年の枠を超えた研修の推進、学力向上プラン等の見直し・改善)
- **児童生徒の「学習力」の向上をめざす授業改善**
(「キラリくだまつ授業づくり」の活用、誤答分析を生かした授業改善等)
- **校内研修の活性化と指導の充実**
(「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業、「やまぐち学習支援プログラム」や「ジャンプアッププリント」の活用、個に応じた補充学習等)

★ 家庭・地域

- **学習・生活習慣の確立**
(「家庭学習の手引き」等の活用、家庭における生活習慣の見直し等)
- **コミュニティ・スクールを生かした学習支援**
(地域の人材の活用等)



★ 下松市教育委員会

- 「キラリくだまつ授業づくり」の実践事例の紹介
- 課題と考えられる状況等の情報提供
- 学校訪問等による指導・助言
- 「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりに関する指導・助言
- 下松市学習指導実践研究校の指定
- 下松市教育研究所における実践研究とその普及